

市内9カ所を清掃

松浦市シルバー人材センター

松浦市シルバー人材センター（久家幸雄理事長、会員277人）が、10月の全国シルバー人材センター事業協会の普及啓発促進月間に合わせ、清掃活動に汗を流しました。

同センターでは、社会貢献の一環と同センターの活動のPRのため、毎年この時期に地区ごとに公共施設などを清掃。今年も市内8地区に分かれて9カ所の清掃に取り組みました。

10月16日には、志佐地区の会員約30人が朝8時から約2時間かけて、松浦駅周辺の草を草刈り機で刈ったりごみを拾ったりしました。



通学合宿でさまざまな体験

星鹿小学校・鷹島小学校

星鹿小学校と鷹島小学校の児童が、それぞれの地域で行われた「通学合宿」に参加しました。これは県の「地域で取り組む通学合宿推進事業」の委託を受け、市が実施したものです。

10月17日から21日までの4泊5日の日程で星鹿町の浄土寺で行われた合宿には、星鹿小の5、6年生27人が参加。地域の人たちの協力を得ながら自分たちで朝食や夕食を作ったり、3～4人ずつ7班に分かれ浄土寺近くの家庭にそれぞれ出向いて入浴したりしました。6年の池淵美波さんは「家族と離れて生活し、自分たちで何でもしてみても家族の大切さやお母さんの大変さが分かりました」と話していました。



まちの話題

Matsuura City Topics

文化の高揚に役立てて

故辻利平画伯の絵画寄贈

長崎市在住の初村敬子さんが10月12日、松浦市名誉市民の故辻利平画伯の絵画2点を市に寄贈されました。

辻画伯が松浦市出身と聞き、市の文化の高揚に役立ててほしいと寄贈されたものです。寄贈された絵は「信貴山秋色72」（F6号）と「平戸獅子海岸」（F8号）の2つの作品。現在、文化会館に展示し、一般公開されています。



特産の魚を使ったアイデアメニュー

おさかな料理コンテスト

まつうら海鮮街道実行委員会（小松英史会長）が主催する「私の自慢のおさかな料理コンテスト」が10月16日、きらきら21で開催されました。

同コンテストは、本市特産の「旬あじ」や「旬さば」の消費拡大などを目指して初めて開催したもの。市内4つのグループが参加し、6品目を出品しました。

審査は、同委員会委員や市内飲食店の調理士などが行い、チーム食改（池野美穂子代表）が作った「アジのピザ風」がグランプリ賞を受賞。表彰式は、同日に松浦魚市場で開催された松浦おさかなまつりのステージで行われました。



きれいな公園でお出迎え

九電工松浦営業所

九電工松浦営業所（北島克己所長）と関連会社の社員が10月20日、松浦中央公園の清掃を行いました。

九電工は、「さわやかコミュニティ旬間」（10月18日～29日）に、社会貢献活動の一環として毎年清掃活動などを行っています。

この日参加した8人は、竹ぼうきなどを使い、同公園内の落ち葉を掃いたり、ごみなどを拾ったりしました。

北島所長は「松浦ロードレース大会の参加者を少しでもきれいな環境でお出迎え、いい成績を出してもらいたいです。また、松浦水軍まつりもあるので少しでもきれいな公園でお客さんを出迎えたいですね」と話していました。



決意や思いなどを発表

福島地区少年の主張大会

平成22年度福島地区少年の主張大会（福島地区青少年健全育成会、教育委員会主催）が10月20日、福島小学校体育館で開催されました。

この大会は、青少年の健全育成を目的に毎年開催。小学5年生以上中学生までの全員に日ごろ感じていることなどを作文にしてもらい、その中から選ばれた小学生4人、中学生3人が保護者や地域住民を前に発表しました。審査の結果、小学生の部では「ミュージカルで学んだこと」というテーマで発表した山野正歩君（養源小6年）、中学生の部では「原爆をなくすために」というテーマで発表した下條聖人君（福島中2年）が最優秀賞に選ばれました。



戦争の悲劇に涙

ききよらい 歸去来松浦公演

本市星鹿町出身の劇作家岡部耕大さんが脚本・演出を手掛けた舞台劇「歸去来」の公演が10月19日、文化会館で行われました。

この劇は、文化会館の自主事業として開催されたもの。あらすじは、旧制高校野球部に所属する主人公が一人の少女と出会い恋に落ちます。少年は職業野球界入りを果たしますが次第に戦争に翻弄され、学徒動員先で少女の死を知らせる手紙とともに特攻機での進撃命令が下るといふ悲しいストーリー。

この日、会場に集まった市民など約300人は、ユーモアを交えた内容に笑ったり、悲しい場面で涙ぐんだりしていました。



水産業への理解を深める

鷹島町で水産教室

県主催による水産教室が10月20日、鷹島町阿翁浦港で行われました。

この教室は、水産業への関心を深め、魚に触れ親しむことで、水産資源や環境について学ぶことなどを目的に開催されたものです。

同教室に参加した鷹島中学校1年生19人は、阿翁浦港で水揚げされたアジを使って、新松浦漁協女性部の指導を受けながら、刺身とすり身揚げの実習を行いました。また、参加した生徒たちは、午後から校外学習の一環として、白浜海水浴場の清掃活動を行いました。

